

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-249647

(43)公開日 平成11年(1999) 9月17日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

F I

G 1 0 G 5/00

G 1 0 G 5/00

G 1 0 D 1/08

G 1 0 D 1/08

審査請求 未請求 請求項の数4 書面 (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平10-90571

(71)出願人 000242286

北村 敬

東京都新宿区北新宿1-10-4

(22)出願日 平成10年(1998) 2月27日

(72)発明者 北村 敬

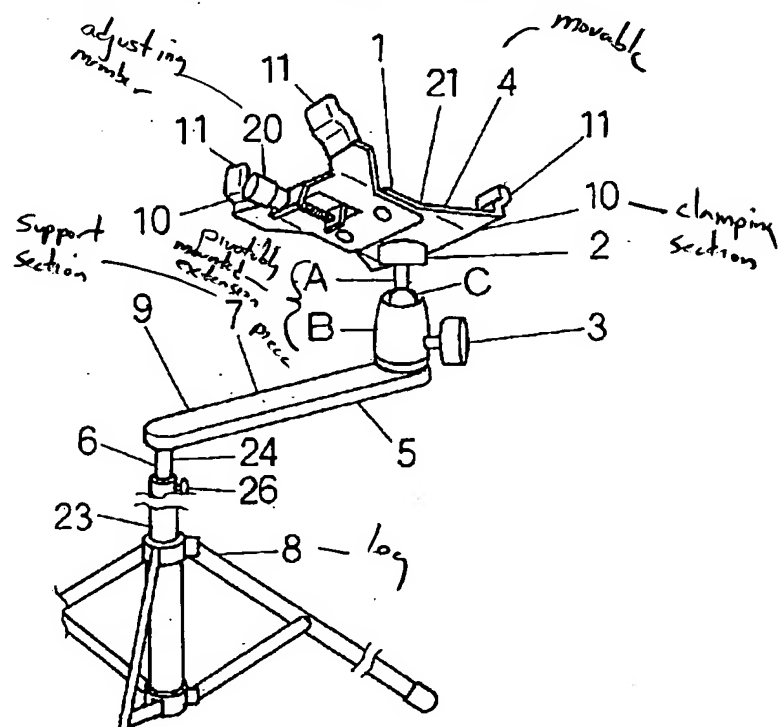
東京都新宿区北新宿1丁目10番地4号

(54)【発明の名称】 演奏用ギタースタンドのクランプ、ギターホルダー、ギターブラケット及び演奏用ギタースタンド

(57)【要約】

【課題】 ギターを、足を広く開くことなく優雅な自然体で演奏でき、緩やかなクランプの挟着力でも、ギターを確実に演奏用ギタースタンドに保持できるようにし、椅子座のほか、立って演奏するときにも使え、床座の演奏にも応用できるようにする。

【解決手段】 クランプ1に、斜面の座2を介して球雲台3を取り付けたギターホルダー4を、横長のビーム5に取り付け、そのビーム5をスタンド8の支柱14に、側方に突出させて取り付ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 任意構造のギター支持具のクランプ1の下面後部（本明細書は、ギターに装着した本案の、ギターの表面板側を前、裏板側を後、さお側を左、胴の下部側を右という。）の任意位置に、左前方が厚くなる斜面の座2を介して球雲台3を突設してなる（以下、これをギターホルダー4という。）演奏用ギタースタンドのギターホルダー。

【請求項2】 横長の部材（以下ビーム5という。）の片側に支柱支持具6を設け、支柱支持具6の反対側の上に請求項1のギターホルダー4を取り付けてなる（以下これをギターブラケット7という。）演奏用ギタースタンドのギターブラケット。

【請求項3】 スタンド8に請求項2のギターブラケット7を取り付けてなる（以下、これを演奏用ギタースタンド9という。）演奏用ギタースタンド。

【請求項4】 ほぼ台形または凸字形の板10の下底に相当する縁の両端から上に爪11、11を形成した台板12の下面前部に、上面に渦巻曲線の突起13を一周以上形成したカム板14を筐体15の中に、下から筐体15を貫通した、つまみ設けた軸16で回動自在に取り付け、その上に、下面に突起13にかみ合う複数の突起17を形成し、先端から上に軟質弾性材を被覆した爪18を形成した板19を、爪18を台板12の前縁より出し、突起13及び突起17をかみ合わせて重ねて、筐体15を取り付けてなる演奏用ギタースタンドのクランプ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、演奏時用のギター支持具に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の演奏時用のギター支持具に、左ももの上にのる曲板の台板32上に、高さが調節可能な2段の支柱33を、前後の角度調節可能に突設し、その支柱33の上端を、ギターの側板を挟む複数の、軟質弾性材を被覆した爪11、11及び11、11を上突設したクランプ34の下面中央に設けたソケットの挿着したギター支持具（以下、これをギターレスト35という。）があった。

【0003】演奏者は演奏前に、以上のギターレスト35のクランプ34をギターの側板の響孔近くに挟着し、椅子座して両足を広く開いて、そのギターを傾け、右もものにギターの8字形の響鳴箱（以下、胴という。）の下部を受け、左ももの上に台板32を載せ、左手でさおを支え、右肘でギターの胴の膨らみの角を抑えてギターを保持し、上体をさお側に傾けてギターを演奏した。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】以上の、ギターレスト35を装着したギターの演奏姿勢は、両足を広く開き、

上体をギターのさお側に傾けた姿勢で見栄えせず、とくに婦人に不向きな姿勢であった。演奏時の、台板32を載せた足とギターの相互の動きによる、台板32を力点とする支柱33のてこ作用により、クランプ34は外れやすく、そのためクランプ34を過度に締めつけた。また、当然、立ってする演奏には使えなかった。

【0005】

【課題を解決するための手段】本案は、ギターホルダー4を設けたギターブラケット7を、スタンド8上に取り付けた演奏用ギタースタンド9である。

【0006】本案は、任意構造のクランプ1、例えば、図1に示す、台形を基本形とする板10、10の下底に相当するへりの両端から上に、Z字形に屈曲し軟質弾性材を被覆した、ギターの側板を挟持する爪11、11及び爪11、11を突設した2枚の板10、10を逆向きに、爪11、11及び爪11、11を外側に向けて重ね合わせ、上下の板が、面方向に前後に摺動自在にねじまはりベットで連結し、且つ前方から長ねじ20で、上下の板10、10を前後に摺動させるように連結したクランプ21。

【0007】または図3に示す、ギターの側板がのる台形状（凸形状も可。）の板10の、下底側後部の両端から上に、Z字形に屈曲し軟質弾性材を被覆した、ギターの側板を挟持する爪11、11を突設した台板12の下面前部に、

【0008】筐体15の中に、突堤状に渦巻曲線の突起13を一周以上形成したカム板14を、下から筐体15を貫通したつまみ設けた軸16で回動自在に取り付け、その上に、下面に一系列の、突起13にかみ合う複数の突起17を形成し、先端から上に、Z字形に屈曲し、軟質弾性材を被覆した爪18を上突設した板19を、突起13及び突起17をかみ合わせ、軸15のつまみを回すと、爪17が台板12に平行、且つ前後に摺動するように重ねた筐体15を、爪17を台板12の前端の外に出して取り付けたクランプ22。

【0009】ギターホルダー4は、以上のクランプ21またはクランプ22のように、任意構造のクランプ（以下、クランプ1という。）の下面後部の任意位置に斜面の座2を設け、そこに球雲台3を取り付けたものである。斜面の座2は、本案を挟着したギターを構えたとき、球雲台3の突軸Aが直立するように、左前方 $40 \pm 10^\circ$ 、 $30 \pm 10^\circ$ 高くなる斜面に形成している。

【0010】斜面の座2の位置は、クランプ1のギターの取付位置によるが、ギターのさおの傾きが 35° のとき、クランプ1下面後部の左右のほぼ中央、さおの傾きが大きくなるに従い右による。

【0011】ギターブラケット7はビーム5の前部に、スタンド8の支柱23の先端に挿入する軸24を下方に突設するか、図4に示す、スタンド8の支柱23に挟着するクランプ25を、前方または側方に設け、後部に、

ギターホルダー4の球雲台3の筐体Bを取り付けたものである(以下、軸24及びクランプ25を、支柱支持具6という。))。

【0012】演奏用ギタースタンド9は、支柱23を立てた任意構造のスタンド8に、ギターブラケット7を取り付けたものである。図1は、折り畳み式の床上スタンド8に立てた、高さ調節可能な複数段の支柱23の最上端の中空軸の中空部に、ギターブラケット7の軸24を挿入し、支柱23上端の止めねじ26で固定した演奏用ギタースタンド9である。

【0013】図2は、ギターと支柱23の間隔調節ができるように、片側端近接部にねじ穴27を設け、その反対側端近接部からねじ穴27方向に、任意の長さ、ねじ28が貫通する筋状の貫通孔29側をあけたビーム5である。ねじ穴27が貫通孔29のいずれかに、支柱支持具6を取り付け、他の側にギターホルダー4の球雲台3を取り付けて、ギターブラケット7を構成する。

【0014】図2は、貫通孔29の任意位置に、軸24の上端の回り止めの突起30を挿入し、上から、頭につまみを設けたねじ28で固定し、ねじ穴にギターホルダー4の球雲台3を取り付けるようにしている。

【0015】図4は、ギターと支柱23の間隔調節ができるように、全長に筋状の貫通孔29を設けたビーム5である。このビーム5に取り付ける支柱支持具6とギターホルダー4は、貫通孔29の任意位置に、頭につまみを設けたねじ28で固定する。

【0016】なお、球雲台3は、ビーム5の後端が球雲台3から出過ぎないようにする。

【0017】

【発明実施の形態】本案は、椅子座の演奏の場合、演奏者は高めの椅子に腰掛け、演奏用ギタースタンド9を上体から離して立て、立って演奏する場合は、演奏者の前に置く。それから、表面板をやや上向きにして、ギターを演奏状態に傾け、傾けたギターの重心、ほぼ16フレットの真下または、それより若干さおよりに球雲台3を合わせてクランプ1を側板に挟着する。

【0018】ギターの高さの調節は、スタンド8の支柱23の伸縮で、クランプ25を設けたギターブラケット7は、それと支柱23のクランプ25の取り付け位置で調節する。ギターの左右の位置の調節は、スタンド8の位置及びギターブラケット7の突出する方向で調節する。ギターの前後の位置の調節は、スタンド8の前後の位置で行う。貫通孔29をあけたビーム5の演奏用ギタースタンド9は、それと、ビーム5上の支柱支持具6またはギターホルダー4の取り付け位置で調節する。ギターの上下の向き及び左右の傾きの調節は、球雲台3でする。

【0019】

【発明の効果】本案の、演奏用ギタースタンド9に装着したギターの、椅子座の演奏姿勢は、両足を広く開くこ

となく、優雅な自然体で演奏でき、ギターレスト35に取り付けたギターの、両足を広く開き、上体をギターのさお側に傾けた見栄えしない演奏姿勢を改善して、立ってする演奏にも使えるようになった。

【0020】ギターブラケット7のビーム5で、支柱23とギターの間隔を適当に保つことができ、椅子座の演奏の場合、支柱23は上体から適当に離れ、両足の間の深い位置に立たないから、優雅な演奏姿勢とともに、婦人に適する。

10 【0021】演奏用ギタースタンド9上のギターの位置及び角度の調節は、ギターを保持した手元近くでできる。貫通孔29をあけたビーム5の演奏用ギタースタンド9は、支柱23とギターの間隔の調節は、貫通孔29に取り付けた支柱支持具6またはギターホルダー4の移動でできる。

【0022】クランプ34でギターを過度に締め付けたギターレスト35に比べ、本案は、ギターの重心の真下、またはその近接部に球雲台3を合わせてクランプ1を取り付けられるから、演奏用ギタースタンド9上のギターは安定して、ギターがずり落ちない程度の締め付けでも、支障なく演奏でき、クランプ1の緩やかな締め付けでも、ギターを演奏用ギタースタンド9に取り付けたまま席を外せるほど、確実に挟着できる。また、球雲台3の筐体Bと突軸Aの屈曲に対する特別な措置も不要である。

【0023】スタンド8に、携行性の良い折り畳み式のものが使え、支柱23を短くして床座の演奏に応用できる。

【図面の簡単な説明】

30 【図1】折り畳み式三脚架の演奏用ギタースタンドの斜視図である。

【図2】下方に軸を突設した、貫通孔を設けたビームの斜視図である。

【図3】渦巻きカムを設けたクランプの斜視図。

【図4】側方にクランプを突設した、貫通孔の長いビームの斜視図である。

【図5】従来のギター支持具の斜視図である。

【符号の説明】

- 1 クランプ
- 2 斜面の座
- 3 球雲台
- 4 ギターホルダー
- 5 ビーム
- 6 支柱支持具
- 7 ギターブラケット
- 8 スタンド
- 9 演奏用ギタースタンド
- 10 板
- 11 爪
- 50 12 台板

(4)

特開平11-249647

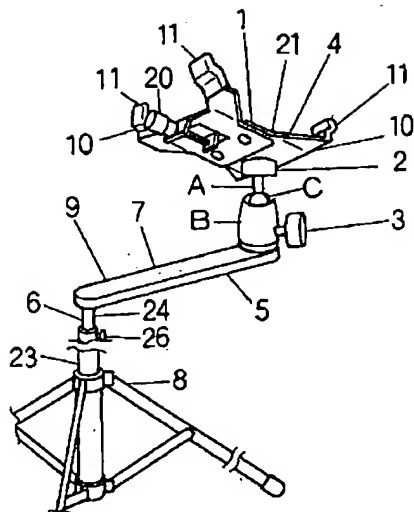
5

6

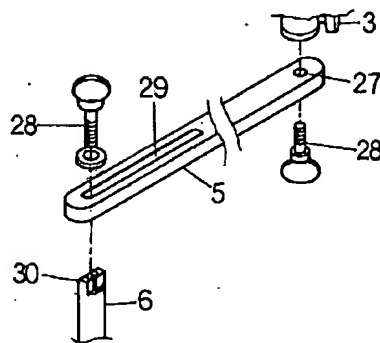
- 13 (渦巻き曲線の) 突起
- 14 カム板
- 15 筐体
- 16 (つまみを設けた) 軸
- 17 突起
- 18 爪
- 19 板
- 20 長ねじ
- 21 クランプ
- 22 クランプ
- 23 支柱
- 24 軸
- 25 クランプ

- 26 止めねじ
- 27 ねじ穴
- 28 (つまみを設けた) ねじ
- 29 貫通孔
- 30 突起
- A 突軸
- B 筐体
- C 溝
- 32 台板
- 33 支柱
- 34 クランプ
- 35 ギターレスト

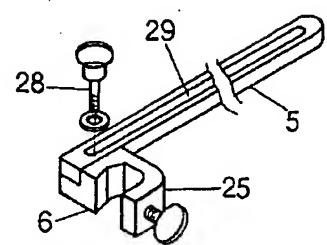
【図1】



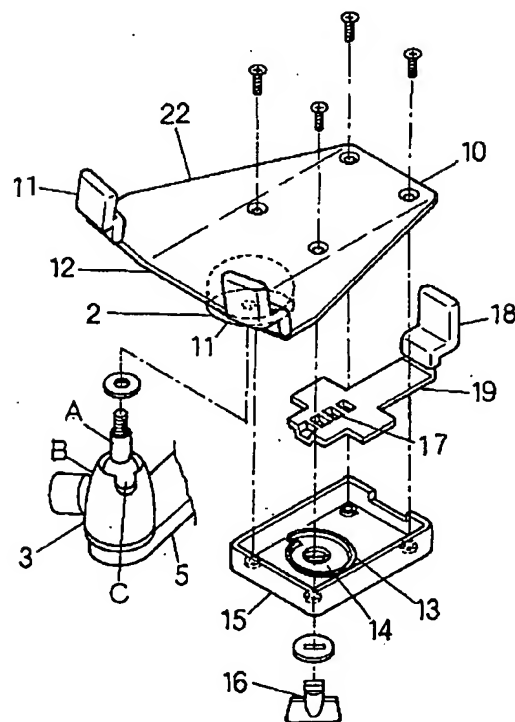
【図2】



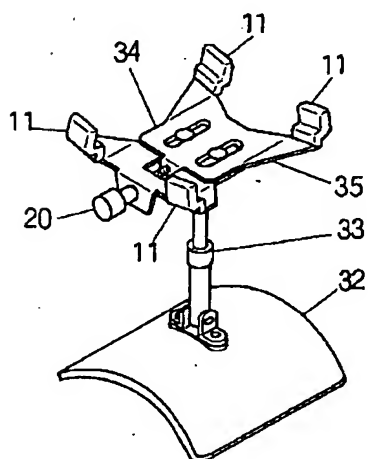
【図4】



【図3】



【図5】



PAT-NO: JP411249647A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11249647 A

TITLE: CLAMP FOR GUITAR STAND FOR PLAY, GUITAR
HOLDER, GUITAR
BRACKET AND GUITAR STAND FOR PLAY

PUBN-DATE: September 17, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

| | |
|-------------------|---------|
| NAME | COUNTRY |
| KITAMURA, TAKASHI | N/A |

ASSIGNEE-INFORMATION:

| | |
|------------------|---------|
| NAME | COUNTRY |
| KITAMURA TAKASHI | N/A |

APPL-NO: JP10090571

APPL-DATE: February 27, 1998

INT-CL (IPC): G10G005/00, G10D001/08

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable play a guitar in a beautiful and natural attitude without opening legs wide, to surely hold a guitar on a guitar stand for play even with the holding power of calm clamp, to use the stand in the case of playing while standing up in addition to a chair seat and to apply the stand to play while sitting on the floor as well.

SOLUTION: Concerning a guitar stand 9 for play, a guitar holder 4 attaching a spherical universal head 3 through a seat 2 of a slope to a clamp 1 is attached to a laterally long beam 5, and that beam 5 is attached to a strut 14 of a stand 8 while being protruded to the side. In the case of playing on the

chair seat, a player sits down on a higher chair, and the guitar stand 9 for play is raised away from the upper body of the player. In the case of playing while standing up, the stand is placed in front of the player. Then, a surface panel is a little turned upward, the guitar is inclined into playing state and the clamp 1 is held on a side plate by matching the spherical universal head 3 just under the centroid of the inclined guitar for about 16 frets or a little closer to the beam.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO